

2016年の業績

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Araki C, Yoshimura M, Fukumitsu Y, Ma S, Ishida T, Urabe S, Matsushima K, Honda T, Uehara R, Fukuda Y, Takeshima F, Higuchi N, Isomoto H, Nakao K and Tsukamoto K*, The evidence of genetic polymorphisms of genes involved in the P2RX7 signaling pathway as predictive biomarkers for response and loss of response to infliximab against Crohn's disease, *Integr Mol Med.*, 3(6), 1-15, 2016.
2. Mawatari T, Yoshida E, Higuchi N, Sato K, Inamine T, Kondo S, Fukushima K, Suyama N, Mukae H, Kohno S, Tsukamoto K, A combination polymorphism of the glutathione synthesis genes can be a predictive biomarker for anti-tuberculosis drug-induced hepatotoxicity in Japanese patients with pulmonary tuberculosis, *Lung Dis Treat*, 2016, doi: 10.4172/2472-1018.1000105, 2016.
3. Hashizume J, Higuchi N*, Sato K, Kodama Y, Matsunaga N, Sakamoto T, Yamaguchi K, Nakamura, Kitahara T, Sasaki H, Evaluation of antiemetic therapy for hepatic transcatheter arterial infusion chemotherapy with cisplatin, *Biol Pharm Bull.*, 39(4), 611-614, 2016.

B 邦文

(B-a) 原著論文

1. 橋詰淳哉、出口雅浩、福田浩子、川本裕美、龍恵美、川崎浩二、中村忠博、北原隆志、佐々木均、樋口則英*、6Lを超える輸液量で在宅移行できた血管作動性腸管ポリペプチド産生腫瘍の一例、日本緩和医療薬学雑誌、9(2), 61-65, 2016.
2. 松永典子、樋口則英、里加代子、稲岡奈津子、前山美和、田島純子、泉野浩生、川崎英二、食事摂取量が十分な褥瘡患者に対してアバンド™とブイ・クレス™の併用が早期治癒促進に有用であった一例、日本病態栄養学会誌、19(2), 307-311, 2016.
3. 赤松隼人、樋口則英*、立石洋平、辻野彰、堀江信貴、出雲剛、林健太郎、佐々木均、北原隆志、抗血栓薬内服が急性期脳出血患者の退院時の死亡率に及ぼす影響、医療薬学、42(3), 168-173, 2016.
4. 神田紘介、室高広、大脇裕一、天本翔子、一瀬菜摘、樋口則英、中村忠博、北原隆志、佐々木均、薬学実務実習における体験型質疑応答実習の導入と評価 ー情報を聞き出す技能の向上ー、日本病院薬剤師会雑誌、52(3), 292-296, 2016.

(B-d) 紀要

1. 樋口則英、今求められている NST と薬剤師の役割 (83) 静脈栄養の適正化を実践で

きる薬剤師を育成することが NST 薬剤師の役割である、週刊薬事新報、2956、9-12、2016.

2. 樋口則英、第 8 回<事例紹介>漢方薬効かせ方の工夫、漢方医薬学雑誌、23(4)、132-134、2016.

【学会発表】

B 国内発表

(B-b) 一般演題

1. 吉田昌子、石嶋真樹子、吉岡大樹、登恵、上村智恵子、川口聡一郎、中村亮、樋口則英、南和徳、放射線咽頭食道炎に対する桔梗湯の有効性について、第 29 回日本放射線腫瘍学会学術大会（京都）、2016 年 11 月.
2. 中村真寿美、吉岡大樹、近藤直幸、白石怜子、江川菜々、岡村志穂、鬼塚伸也、クリニカルパス承認における多職種審査の有用性の検討、第 17 回日本クリニカルパス学会学術集会（金沢）、2016 年 11 月.
3. 室高広、馬場安里、橋詰淳哉、黒崎友亮、嶺豊春、樋口則英、佐々木均、病棟専任薬剤師の入院患者に対するポリファーマシー削減の実態調査、第 49 回日本薬剤師会学術大会（名古屋）、2016 年 10 月.
4. 鎌田昭江、谷口育昌、有森春香、渡部太郎、竹中奈月、早崎夕姫、村井春霞、山下理恵、小田めぐみ、山下真由美、荒木佐矢香、猪野恵美、兼松隆之、1 週間の当院糖尿病教育入院の効果の検討、第 54 回日本糖尿病学会九州地方会（鹿児島）、2016 年 10 月.
5. 村井春霞、鎌田昭江、本田真美、谷口育昌、早崎夕姫、竹中奈月、山下理恵、小田めぐみ、植木菜美、荒木佐矢香、猪野恵美、1 週間の当院糖尿病教育入院から半年の食行動の検討、第 54 回日本糖尿病学会九州地方会（鹿児島）、2016 年 10 月.
6. 山下理恵、鎌田昭江、馬場かおり、小田めぐみ、山下真由美、荒木佐矢香、猪野恵美、兼松隆之、糖尿病チームへのチームビルディングの導入、第 54 回日本糖尿病学会九州地方会（鹿児島）、2016 年 10 月.
7. 神田紘介、室高広、樋口則英、橋詰淳哉、黄智剛、兒玉幸修、金内優典、三浦清徳、中村忠博、佐々木均、婦人科がん Weekly TC 療法における知覚神経障害発症のリスク因子解析、第 26 回日本医療薬学会年会（京都）、2015 年 9 月.
8. 黄智剛、神田紘介、樋口則英、橋詰淳哉、兒玉幸修、金内優典、三浦清徳、室高広、佐々木均、婦人科癌に対するパクリタキセル・カルボプラチン療法におけるアプレピタント併用の有効性と安全性の評価、第 26 回日本医療薬学会年会（京都）、2015 年 9 月.
9. 石嶋真樹子、吉岡大樹、吉田昌子、寺田早絵、森善洋、南和徳、樋口則英、放射線食道炎に対する桔梗湯の有効性の検討、第 10 回日本緩和医療薬学会年会（浜松）、2016 年 6 月.

10. 藤田有紀子、佐道紳一、増山純二、黒坂升一、六倉和生、陶山一彦、NOAC 適正使用の現状分析と課題、第 41 回日本脳卒中学会総会（札幌）、2016 年 4 月.
11. 相良郁子、三浦伊代、田嶋真理子、濱口利恵子、松永典子、樋口則英、久松徳子、三串伸哉、泉野浩生、山野修平、世羅至子、花田浩和、藤田文彦、安武亨、永田康浩、医師になってからでは遅い!?!~卒前から始める栄養教育の取り組み~、第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会（福岡）、2016 年 2 月.
12. 里加代子、樋口則英、松永典子、稲岡奈津子、佐々木均、北原隆志、薬学部実務実習生への NST 教育の実施とその評価、第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会（福岡）、2016 年 2 月.
13. 松永典子、樋口則英、里加代子、稲岡奈津子、佐々木均、北原隆志、若手薬剤師への栄養管理に関する早期教育研修の効果、第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会（福岡）、2016 年 2 月.